

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

55

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	コミュニティバス運行事業					
予算科目	2 款 1 項 12 目					
予算事業名	交通アクセス対策費					
総合計画での位置づけ	便利な都市環境をつくる					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	矢山 良寛			
事業担当者	安部 憲一郎	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	町民					
事業の目的	町民の買い物や通院といった、普段の生活における交通手段の確保及び交通弱者の利便性の向上を図るため、町内における路線バス等との地域公共交通ネットワークの確立と交通空白地の解消					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	デザイン性に富んだポンチョタイプのバス(定員24名)とミニバンタイプのバス(定員12名)を有料(100円)にて町内を巡回するコミュニティバスとして運行。平日・土日祝日とも一日5便運行。運行形態については、地域公共交通活性化協議会を開催し、改善等を実施					
目的達成の指標	コミュニティバスの利用者数					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	人	11,000	11,000	11,000	11,000
	実績	人	11,864	16,006		
指標設定の考え方	利用者が増えることは、利用者のニーズに沿った公共交通の提供となり、住民の生活の利便性向上に繋がると考えるため。					
事業遂行時懸案事項等	平成29年11月より、利便性の向上を目的にバス2台体制で順周りと逆周りの双方向で運行を開始し、移行の利用者数は徐々に増加している状況である。 しかしながら、費用対効果の面から見るとまだまだ利用者を増やしていく必要がある。 そのため、高齢者を中心としたマイカー利用者のバスへの利用転換を図るなどして利用者の増に努めていく。					
事業実施時懸案事項対応等	○バスを2台体制にする際に、利用者が分かりやすい時刻表やサインの表示を行うようにした。 ○イコバスを使っていない方々へ世代別にヒアリングを実施し、課題等の抽出を実施した。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,749 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.13	0.13	0.13
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	959	955	935
事業費	直接事業費	22,310	27,067	22,000
	人件費	959	955	935
	合計	23,269	28,022	22,935
財源内訳	国庫支出金	4,294	3,379	4,255
	県支出金			
	地方債			
	その他	360	360	360
	一般財源	18,615	24,283	18,320
	合計	23,269	28,022	22,935

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	22,310	27,067	22,000	22,000	22,000
実績	15,044	18,825			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
運行事業者(協和タクシー)との協議	回	2	3	3	3
		2	4		
利用者のニーズ把握調査	回	1	1	1	1
		1	1		
観光イベント時にアクセス手段として印刷物に掲載	回	3	3	3	3
		3	3		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,815 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算	
事務量	① 人工数	0.13	0.13	0.15
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	926	955	1,078
事業費	直接事業費	15,044	27,067	18,825
	人件費	926	955	1,078
	合計	15,970	28,022	19,903
財源内訳	国庫支出金	4,294	3,379	3,633
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他	360	360	360
	一般財源	11,316	24,283	15,910
	合計	15,970	28,022	19,903

実施備忘録

--

自己評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

鉄道のない当町においては、バスでの移動は大変重要な交通手段となっている。エコバスは、町内を通る路線バス(JR九州バス、西鉄バス)との接続を可能にする交通手段として必要であり、今年度は前年度比で約35%増と大きく増加しており、必要性が益々増してきていると思われる。

また、路線バスだけではカバーできない地域を運行することにより交通空白地に住んである方や、交通手段が無く買い物や通院といった生活に必要な移動に困っている方にとっても重要な役割を持っていると言える。

毎年、利用実態調査を実施し、利用状況を調査・検証し効率性の確保や利用者のニーズの把握に努めている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

利用者数については前年度まで約20%の増加傾向が見られていたが、今年度は35%増と大幅に増加している。

しかしながら、費用対効果の面から見ると、まだまだ十分ではなく、今後も、まだ利用したことのない方やエコバスのことを知らない方など潜在的な利用者を発掘し新規利用につなげるため、利用者のターゲットを絞り、利用モデルなどを提案するなどして利用促進の働きかけを行う。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

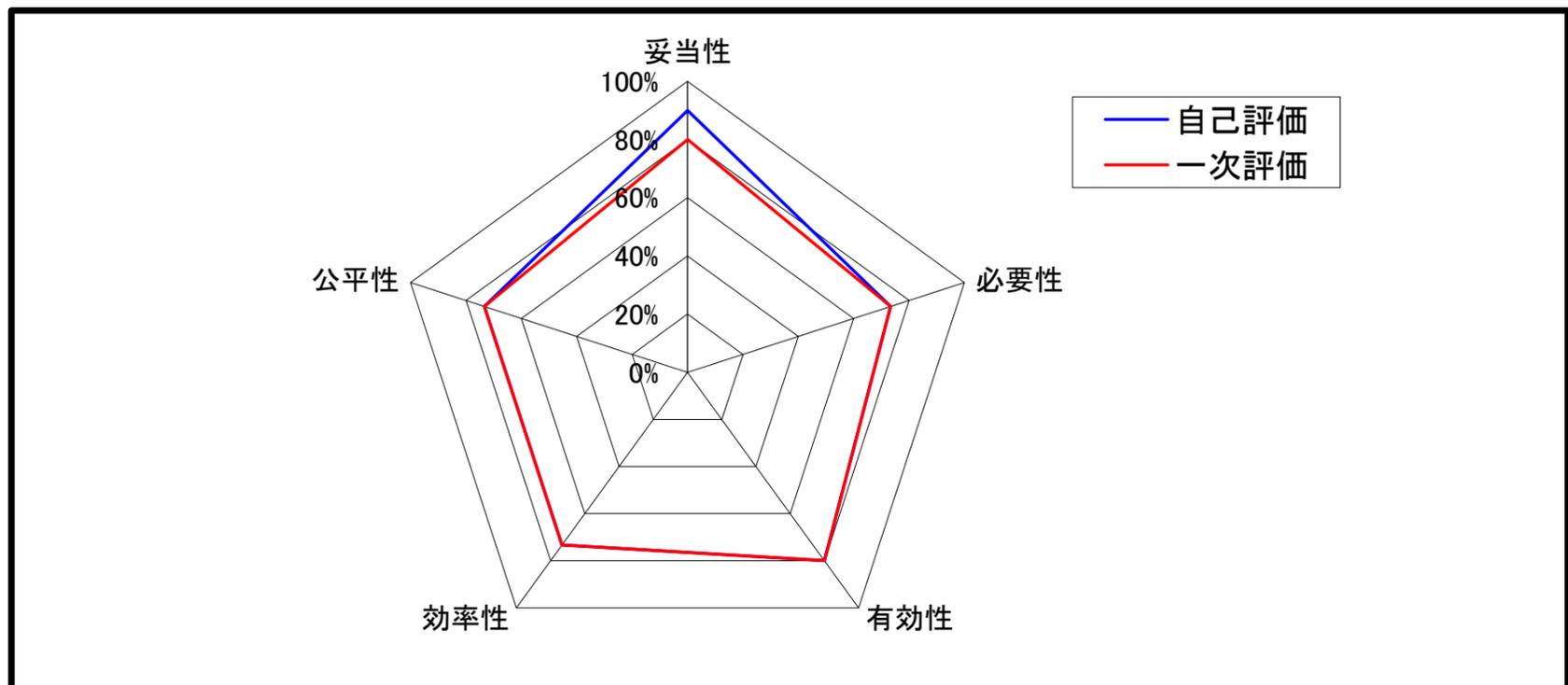
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input checked="" type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

高齢者の免許返納等も踏まえた、利用促進に向けたPRに力を入れると同時に、町外に運行するバス路線への乗り継ぎ効果を高めるダイヤやルート等の検討を実施し、引き続き利用者増を図る。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	矢山 良寛
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

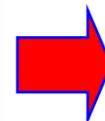
- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

高齢者の増加や、免許返納者の増加に伴い、コミュニティバスの需要は増加すると考えられ、利便性の向上をはかり、利用者増に取り組む。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

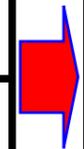
一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--